

## STAGE+を楽しむ(253)(HP 収載)

—フィスクのバッハのギター—

### 1. 始めに

前報(252)に引き続き、STAGE+のエリオット・フィスクのバッハのギターの演奏の試聴を実施します。

### 2. 試聴音源

今回は、STAGE+のエリオット・フィスクのバッハのギターの演奏を選びました。

エリオット・フィスクがギターで奏でるバッハ

コンサート

ミュンヘン・ピアノの夏

収録日: 1985年7月3日

ソリスト:

エリオット・フィスク (ギター)

曲目:

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調 BWV 1004

(エリオット・フィスクによるギターのための編曲版)



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC間のLAN接続にOPT ISO BOXを適用し、OPT ISO BOXのACアダプターのDCケーブルにFX AudioのPetit Susie Solid Stateを介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

お馴染みのバッハの無伴奏ヴァイオリンパルティータのフィスク自身によるギター曲への編曲版です。

1985年のライブ収録ながら音も良くライブ感が伝わってきます。

フィスクの演奏は、強弱、緩急自在に、軽やかであったり力強くあったりと自由な解釈で演奏されています。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツやCrystal EpY-GやPCの仮想アースCrystal E JtuneにCrystal Eを連結し、LAN接続にOPT ISO BOXを適用した結果、ギター曲の緩急自在な演奏のライブ感が再現されています。

以上